

登録コード	TSJ53600	開講年度	2026				
授業科目	生体情報計測特別実験					担当教員	橋本 昌巳
英文授業名	Bioinformation Sensing Laboratory 1					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	修士1年生
講義室				授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					【授業の達成目標】	
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ, 2 4TSカリ, 2 3TSカリ						
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					・自らの専門分野について深い知識を持ち、初学者にプレゼンテーションを含めた説明、解説ができる。	
(2)授業の概要	生体情報に関する各テーマに対して、深い知識を身につけるとともに、受講者自身が主体的に実験方法を調べ、アイデアを出し、問題点を解決しながら実験を行うための能力を養う。 グループで集中講義形式にて実施する。						
(3)授業計画	下記の生体、福祉情報計測処理技術に関係するテーマについて、情報計測・処理システムを構築する。実験をととして、計測技術、処理手法を学び、問題点、改善方法等を議論する。各回集中10時間（1コマ2時間x1日5コマ）で行う。 第1回：ガイダンス。基礎演習と解説。 第2回：生体センサ、アンプに関する実験と解説。 第3回：生体信号処理に関する演習と解説。 第4回：生体超音波計測に関する実験と解説。 第5回：生体用画像処理技術に関する演習と解説。 第6回：呼吸情報計測の実験と解説．最終発表会。						
(4)成績評価の方法	定期的に行う受講者ごとの進捗状況報告とゼミ形式のプレゼンテーションの内容を総合的に判断して、単位を認定する。						
(5)成績評価の基準	定期的なプレゼンテーションにおいて自らの課題に対して、問題の設定が適切であり、その問題の背景を説明できており、その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。からの5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	自らの課題について、事前に関連分野の文献を調査して重要事項をまとめる。さらに各自ののテーマごとに実験結果等を報告書にまとめる。						
(7)履修上の注意	特になし						
(8)質問,相談への対応	オフィスアワーの時間は定めないので、質問等の希望日時をメールで連絡すること。 mhasimo@shinshu-u.ac.jp						
(9)その他	特になし						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						